

J A S 構造材個別実証支援事業助成金交付申請書

一般社団法人全国木材組合連合会
 会長 鈴木 和雄 殿

宣言事業者No
 会社名
 代表者名

印

当社は、下記物件について助成金の交付を申請します。

(1) 物件情報

個別実証事業No			物件名						
住所							地上階数		
事業担当者		Tel		e-mail					
助成対象となる J A S 構造材の建て方完了年月				申請				実績	
助成対象の階数 (○をつける)	申請	1 F	2 F	3 F	4 F	5 F	その他の階		
	実績	1 F	2 F	3 F	4 F	5 F	その他の階		
助成対象面積 (平米)	申請								
	実績								
ア) 総木材使用量 (注 1)			申請	m ³			実績	m ³	
イ) ア)のうち、J A S 材使用量			申請	m ³			実績	m ³	

(2) 助成対象木材 (注 2)

木材使用量 (m ³)		機械等級	目視等級	2 × 4	C L T	その他林産物 J A S
り) ①のうち、助成対象木材使用量	申請					
	実績					
え) ②のうち国産材使用量	申請					
	実績					

(3) 助成金 (注 2)

助成対象木材調達費内訳 (円)	機械等級	目視等級	2 × 4	C L T	その他林産物 J A S
木材代 (円)					
加工費 (円)					
運搬費 (円)					
合計 (円)					
交付申請金額 (消費税抜き)				円 (千円未満切り捨て)	

※共同申請者の有無 あり なし (ありの場合は様式 6 号 (共同申請) も要提出)

注 1 : 総木材使用量とは、構造部材以外も含む木材使用量 (予定数量を含む)

注 2 : 機械等級とは機械等級区分構造用製材、目視等級とは目視等級構造用製材、2 × 4とは2 × 4工法構造用製材を意味する。

- ※付属資料
- ・助成対象の J A S 構造材が色付けされ判別可能な木拾い表・平面図（部屋の用途が書かれたもの）・立面図・軸組図・梁伏せ図（助成対象の林産物 J A S がわかるように色付け）助成対象木材の領収書（又は請求書）
 - ・記録写真
 - ・様式 3 号の日付以降に材料調達が行なわれたと判別できる資料（発注書、材料指示書等）
 - ・助成対象木材が合法木材であることを証明出来る書類
 - ・事業申請時から変更があった場合は確認申請書及び確認済証のコピー、又は建築工事届のコピー
 - ・その他助成額の査定に必要な資料

様式6号 (共同申請)

共同申請者

連携①

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携②

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携③

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携④

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携⑤

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携⑥

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

様式6号提出物チェックシート

- 提出する図面について、JAS材が判別できるよう色付けされ、添付されているか。
- 使用予定のJAS構造材の種類（機械等級区分構造用製材、目視等級区分構造用製材、2×4製材、CLT）が明記され、添付されているか。
- 申請する建物に使用予定の林産物JASの予定使用料及び予定調達費がわかる木拾い表が添付されているか。
- 調達費の算出過程がわかる資料が添付されているか。
- クリーンウッド法に適合する木材であることがわかる資料が添付されているか。
- 交付決定日（様式3号審査結果通知書に記載された日付）以降に木材が調達されたことがわかる資料が添付されているか。
-

JAS 構造材個別実証支援事業報告書

※連携により申請した場合は、上記項目について連携者の意見も記載して下さい。

①施主に対して説明を行いましたか？ 【Yes / No】 (選択する)

→Yes を選択された方は、どのような説明を行ったかを具体的に記入して下さい。

・品質面、価格面で施主の反応・評価について具体的に記入して下さい。

→No を選択された方は、なぜ説明を行わなかったかを具体的に記入して下さい。

②助成事業を申請するにあたり、構造・JAS 構造材の使用の有無は変更ありましたか？ (選択する)

変更前：木造軸組工法、2×4 工法、CLT パネル工法、鉄骨造、RC 造、その他 ()

↓

変更後：木造軸組工法、2×4 工法、CLT パネル工法、鉄骨造、RC 造、その他 ()

JAS 構造材の使用の有無 (有 ・ 無) → (有)

③JAS 構造材を利用したことでメリットがありましたか？ 【Yes / No】 (選択する)

→Yes を選択された方はどのような点でメリットがあったか具体的に記入して下さい。

④JAS 構造材を利用したことでデメリットがありましたか？ 【Yes / No】（選択する）

→Yes を選択された方はどのような点でデメリットがあったか具体的に記入して下さい。

--

⑤構造設計をする上で J A S 構造材を利用した事によるメリットがありましたか？

【Yes / No】（選択する）

→Yes を選択された方は、どのような点でメリットがあったか具体的に記入して下さい。

--

⑥構造設計をする上で J A S 構造材を利用した事によるデメリットがありましたか？

【Yes / No】（選択する）

→Yes を選択された方はどのような点でデメリットがあったか具体的に記入して下さい。

--

⑦今後の J A S 構造材への希望や期待を具体的に記入して下さい。

--

⑧施工中における JAS 構造材について普及の取り組みを具体的に記入して下さい。

--

⑨本事業以外の助成事業と併用しましたか？ 【Yes / No】（選択する）

→Yes を選択された方はどの助成事業と併用したか具体的に記入して下さい。

助成元（国市町村）	事業名	金額（円）

様式 6 号－ 2 （機械等級構造用製材／目視等級区分構造用製材／ 2 × 4 工法構造用製材）

① JAS 機械等級構造用製材／目視等級区分構造用製材／ 2 × 4 工法構造用製材を利用するにあたり、供給業者を探すのに苦労しましたか？

【とても苦労した／やや苦労した／どちらともいえない／あまり苦労しなかった／苦労しなかった】（選択する）

・どのように業者を見つけましたか？

【既存取引先／取引先からの紹介／本事業のホームページ／その他インターネット／その他】

→その他を選択した方は、具体的に記載して下さい。

② JAS 材とノン JAS 材を比較した場合、価格は次のうちどれに該当しますか？

JAS 材が、【高い／変わらない／低い／比較していない】（選択する）

→比較していないを選択した方は、なぜ比較しなかったのですか？

→高い／低いを選択した方は、何%ほど価格に差がありましたか？

%

③ JAS 材とノン JAS 材を比較した場合、納期は次のうちどれに該当しますか？

JAS 材が、【長い／変わらない／短い／比較していない】（選択する）

→比較していないを選択した方は、なぜ比較しなかったのですか？

→長い／短いを選択した方は、何日ほど納期に差がありましたか？

日

④ 今後、他の物件で機械等級構造用製材、目視等級区分構造用製材または 2 × 4 工法構造用製材を利用しますか？

【とても利用したい／やや利用したい／どちらともいえない／あまり利用したくない／利用したくない】（選択する）

・それはなぜですか？選択した理由を具体的に記入してください。

様式6号-2 (CLT) - 1

①なぜ CLT を選択したか理由を具体的に記入して下さい。

②他の構造を検討しましたか？【在来工法／2×4／その他／検討していない】（選択する）

→その他を選択した方は、その他の構造を具体的に記入して下さい。

③他の構造選択肢と比較して、CLTが優位となった点は次のうちどれに該当しますか？

【価格／先進性／環境面／地域貢献／その他】（選択する（複数選択可））

→その他を選択した方は、その他の点を具体的に記入して下さい。

・優位となった点の理由を具体的に記入して下さい。

④他の構造選択肢と比較して、CLTが不利となった点は次のうちどれに該当しますか？

【価格／先進性／環境面／地域貢献／その他】（選択する（複数選択可））

→その他を選択した方は、その他の点を具体的に記入して下さい。

・不利となった点の理由を具体的に記入して下さい。

⑤構造設計において苦勞はしましたか？

【とても苦勞した／やや苦勞した／どちらともいえない／あまり苦勞しなかった
／苦勞しなかった】（選択する）

→とても苦勞した／やや苦勞した／どちらともいえない／あまり苦勞しなかったを選択した方は、
どのような点で苦勞したか具体的に記入して下さい。

様式 6 号－ 2 (CLT) － 2

施主の名称					
構造の工法(設計ルート)	工法(設計ルート：)				
構造別階数(内訳)	階(階 工法+ 階 工法)				
竣工日(又は竣工予定日)	西暦 年 月 日竣工(西暦 年 月竣工予定)				
申請者がこれまでに建築した CLT の棟数	当該物件を含め 棟				
CLT の構造躯体の建方に要した作業者の人工数と日数(基礎施工日数は除く)	人工 (人・日) 日間				
CLT の施工に掛かるクレーン等機械の大きさ別の台数	t × m 台				
	t × m 台				
輸送に要したトラックの種類と延べ台数	t 車 台				
	t 車 台				
使用した CLT の製造工場名				(所在地市町村名)	
使用した CLT のプレカット工場名				(所在地市町村名)	
代表的な接合金具の製造工場				(所在地市町村名)	
CLT の納品に要した期間 発注先に○	注文から納入まで約 週間 発注先：CLT 製造工場、プレカット工場、(それ以外)				
接合金物の納品に要した期間 (代表的なもの)	既製品の場合：約 週間 特注品の場合：約 週間				
建築物のモジュールに○	910 mm、1,000 mm、(それ以外)				
ラミナの地域材の指定に○	指定なし、指定有り(地域：)				
使用した CLT の規格・数量等 ※単価は、規格別に現地着価格(CLT+プレカット加工費+運搬費)とする。なお、円/枚又は円/m ² のどちらかとする。	部材名	単価(円/枚)※	樹種	強度等級/構成	代表的な部材寸法と枚数 厚さ×幅×長さ×枚数
	屋根				
	横架材				
	壁材				
	床材				
	その他				
CLT 構造部分に使用した接合金物の価格	1 式： 円				
都市計画による地域区分に○	防火地域、準防火地域、22 条地域、それ以外				
建築物の用途による制限	用途() 耐火建築物(階 m ²)、準耐火建築物(階 m ²)				
今後の普及計画					